

## 6. 防災マップ閲覧方法・配架

### 調査結果の概要

<b>テーマ</b>	防災マップ閲覧方法・配架
<b>担当課</b>	危機管理室 防災課
<b>設問数</b>	9 問
<b>趣旨・目的</b>	<p>本市では、市民の防災意識向上を目的に、令和 4 年に防災マップをリニューアルしました。</p> <p>防災マップは、市民の自発的な行動変容を促すためデジタルの啓発を基本とし、紙媒体は全戸への配布から市内民間事業者等にご協力いただき配布する方法へ変更しています。</p> <p>今回のアンケートは防災マップの普及や配布方法の効果を測るため実施します。</p> <p>調査結果は、今後の啓発活動に活用するものです。</p>
<b>調査結果</b>	各設問のページを御覧ください。
<b>調査結果に係る 担当課の所見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問 50 では、防災に関して「非常に興味がある」「多少興味がある」との回答が 91.0%を占めたものの、問 51 では、防災マップ保有率は 27.6%と依然として低い状況でした。</li> <li>防災マップを活用いただくため、広報さかいや危機管理室 X（旧 Twitter）等のデジタルツール等を活用しながら、啓発活動の拡充を図ります。</li> <li>・問 54 では、「紙媒体の方が利用しやすい」を含む選択肢を回答した方は 74.8%であり、紙媒体の要望が高いことが判明しました。</li> <li>このため、要望の高かった紙媒体による啓発と市民の自発的な行動変容を促すためのデジタル媒体を併用した啓発を実施します。</li> <li>・問 52 では、市（区）役所での防災マップ入手割合は 75.2%であり、問 56 では、その他の配架先はスーパーマーケットを希望する回答が 73.3%でした。</li> <li>普段利用する機会の多い場所での配架を希望する回答が多い結果となったため、民間事業者での防災マップ配架の取組を進めます。</li> </ul>

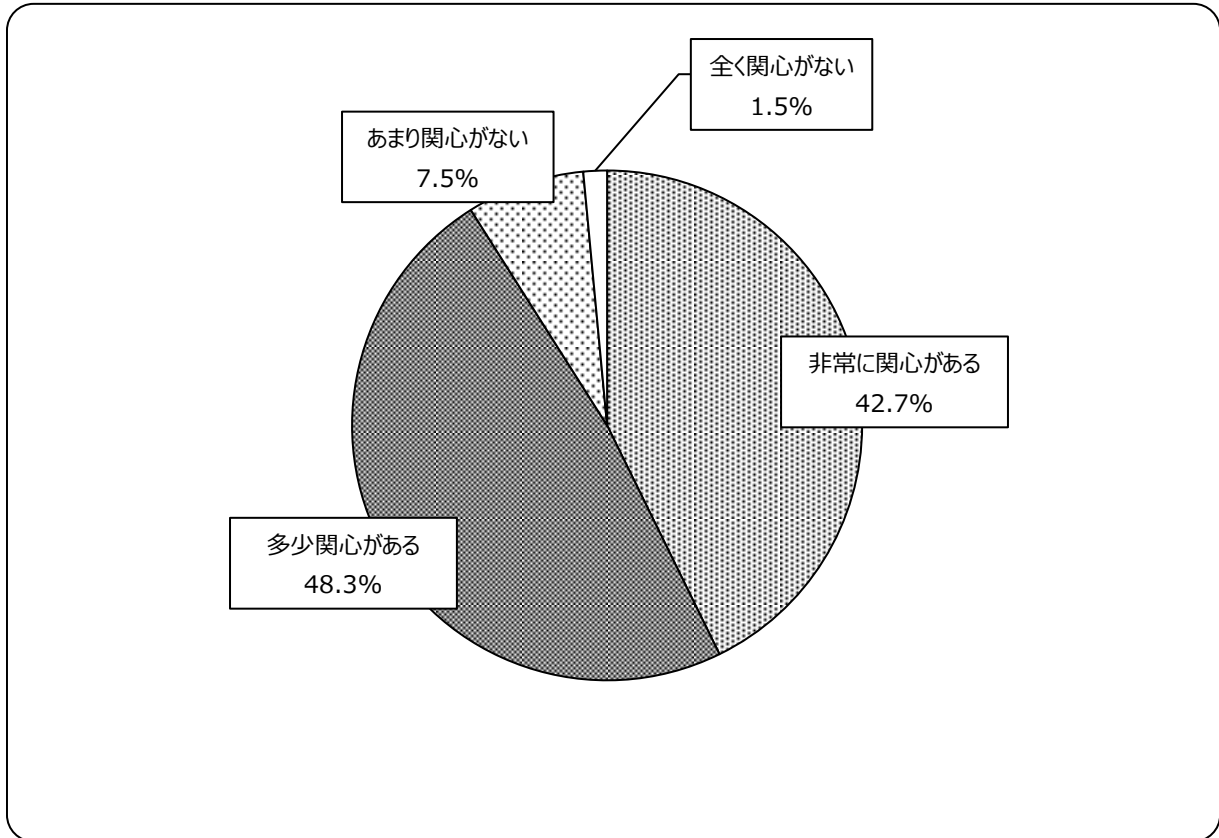
(1) 防災への関心

問50. 防災に関してどの程度関心がありますか。

【各項目：1つ選択】

「非常に関心がある」「多少関心がある」と回答した方が91.0%であり、令和6年度から1.1ポイント減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	非常に関心がある	200	42.7%
2	多少関心がある	226	48.3%
3	あまり関心がない	35	7.5%
4	全く関心がない	7	1.5%
	計 (回答総数)	468	100.0%



(2) 防災マップ

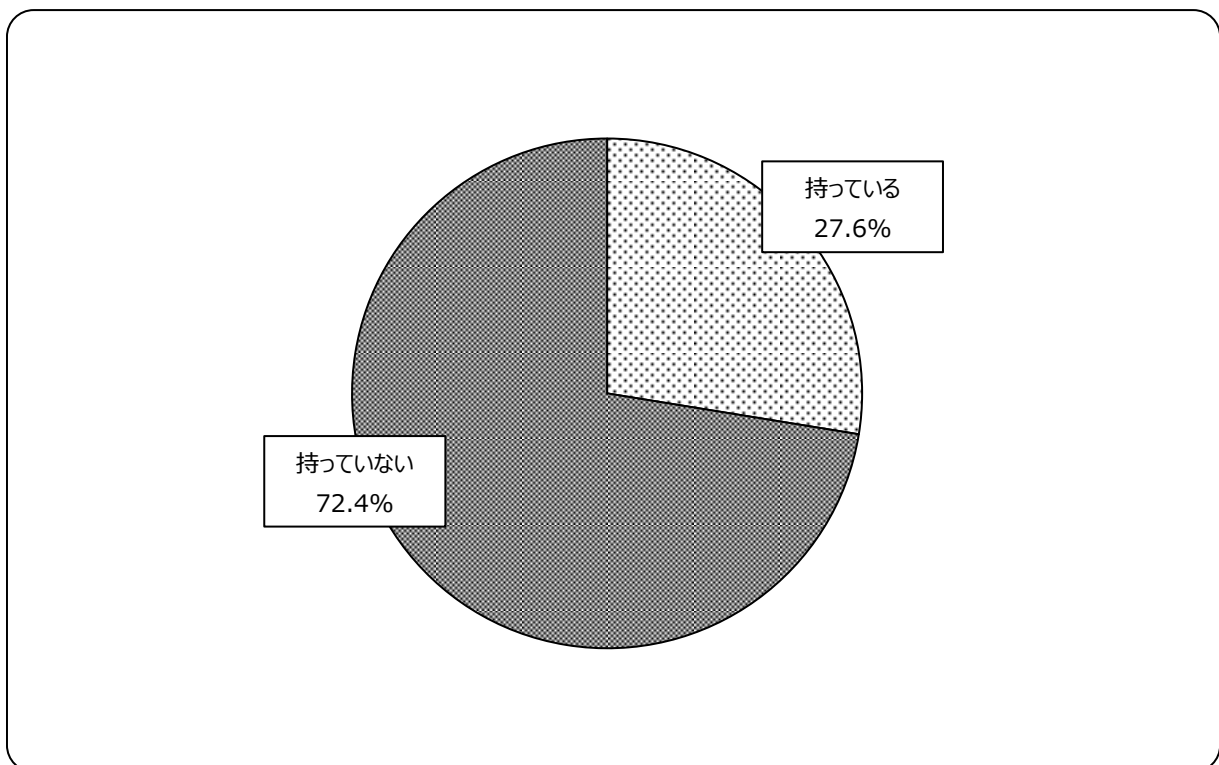
問51. 現在、防災マップ（紙媒体又は電子媒体でのダウンロード等を含む）を持っていますか。



【各項目：1つ選択】

「持っている」と回答した人が27.6%であり、令和6年度から5.7ポイント減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	持っている	129	27.6%
2	持っていない	339	72.4%
	計 (回答総数)	468	100.0%



**問52. 問51で「1 持っている」と回答された方に伺います。**

**防災マップをどこで入手しましたか。**

**【複数選択可：いくつでも】**

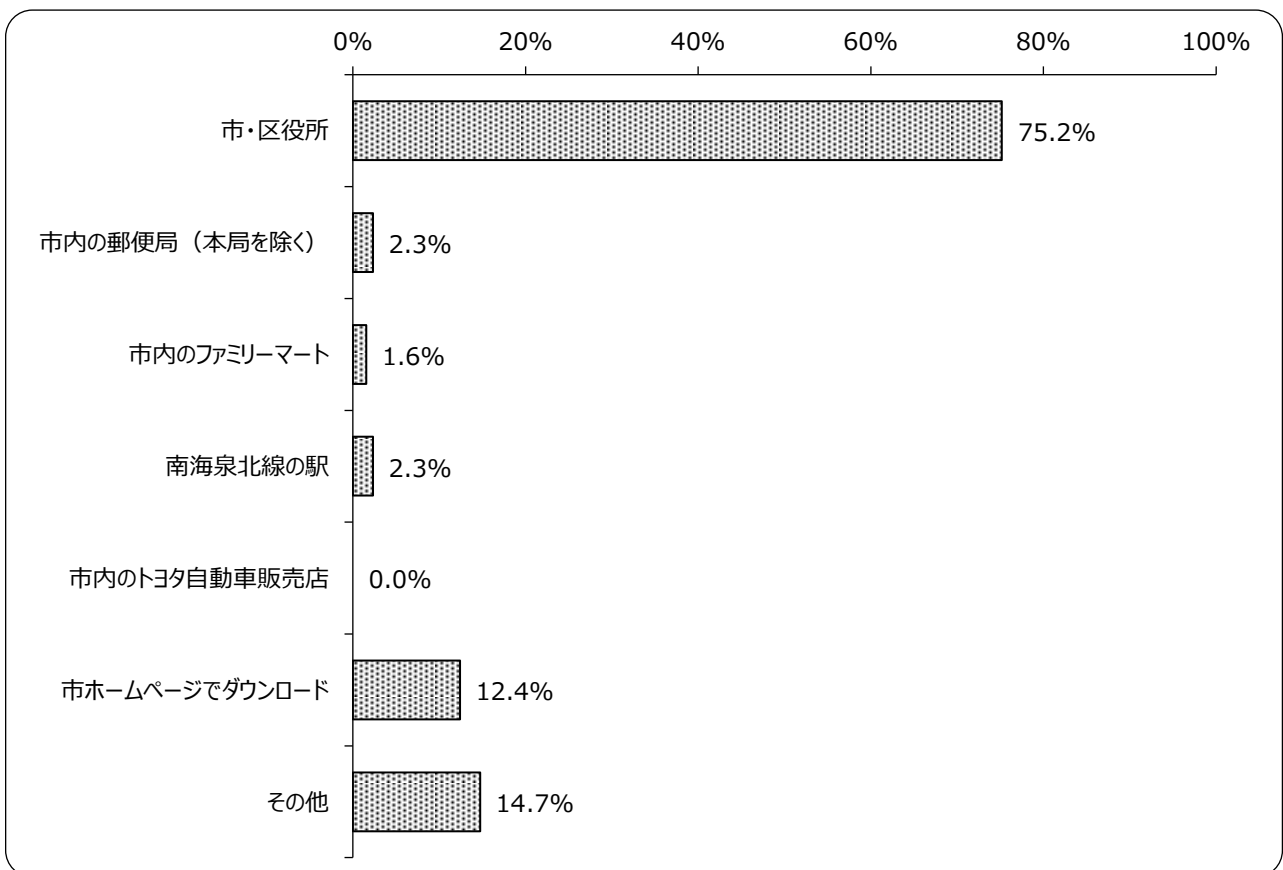
「市・区役所」と回答した方が75.2%と最も多く、次いで「市ホームページでダウンロード」と回答した方が12.4%であり、令和6年度からそれぞれ2.4ポイント、5.5ポイント減少した。

	選択項目 (n=129)	回答数	回答数/n
1	市・区役所	97	75.2%
2	市内の郵便局（本局を除く）	3	2.3%
3	市内のファミリーマート	2	1.6%
4	南海泉北線の駅	3	2.3%
5	市内のトヨタ自動車販売店	0	0.0%
6	市ホームページでダウンロード	16	12.4%
7	その他	19	14.7%

[7 その他]

**【主な回答】**

- 自治会
- イベント
- 町内会の回覧



問53. 問51で「1 持っている」と回答された方に伺います。

なぜ、防災マップを入手しようと思われましたか。

【複数選択可：いくつでも】

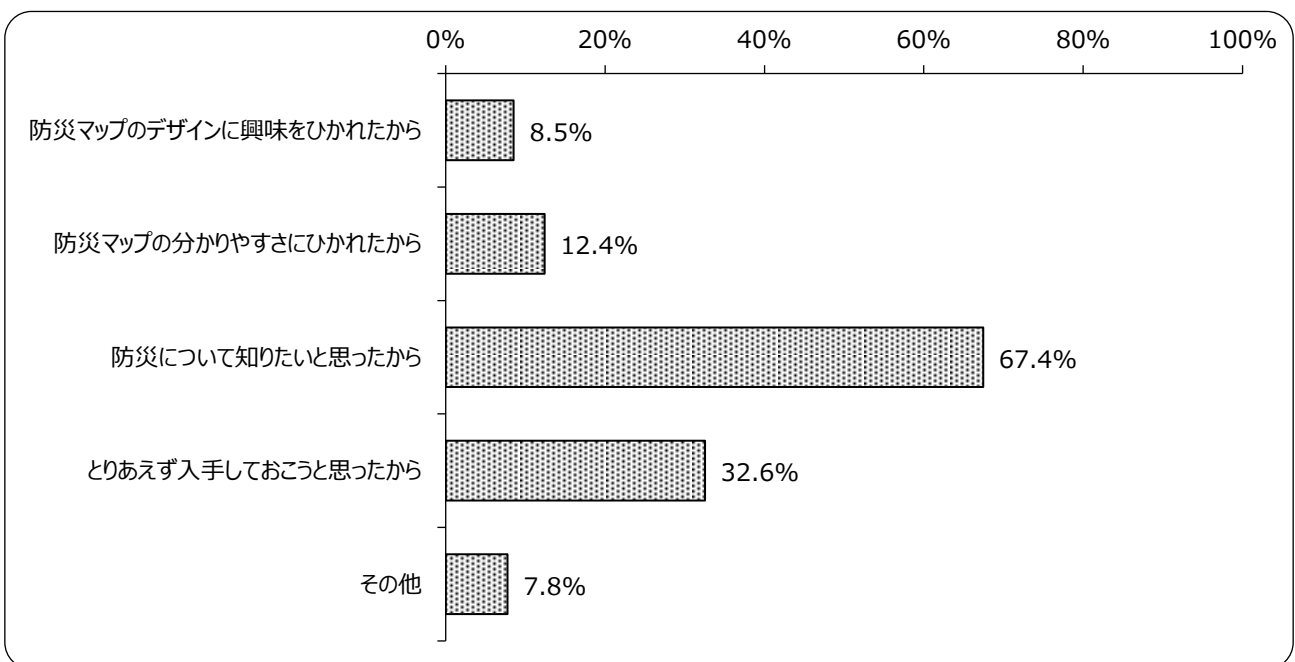
「防災について知りたいと思ったから」と回答した方は67.4%であり、令和6年度から2.5ポイント減少した。

	選択項目 (n=129)	回答数	回答数/n
1	防災マップのデザインに興味をひかれたから	11	8.5%
2	防災マップの分かりやすさにひかれたから	16	12.4%
3	防災について知りたいと思ったから	87	67.4%
4	とりあえず入手しておこうと思ったから	42	32.6%
5	その他	10	7.8%

[5 その他]

【主な回答】

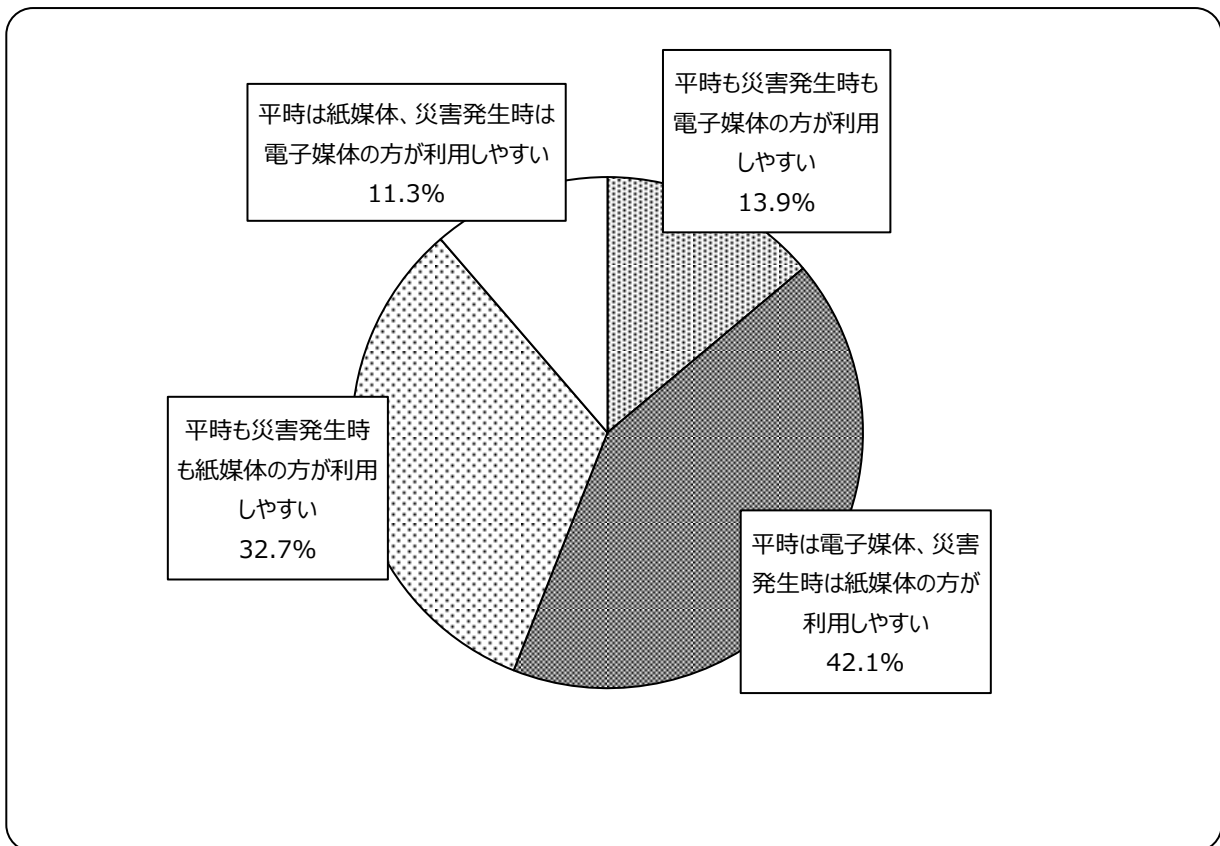
- イベント等で配布されたため。
- 家族のために必要と思ったため。



**問54. 平時（災害が発生していない時）や災害発生時に防災マップを閲覧する際、電子媒体と紙媒体ではどちらが利用しやすいと思いますか。** **【1つ選択】**

「平時は電子媒体、災害発生時は紙媒体の方が利用しやすい」「平時も災害発生時も紙媒体の方が利用しやすい」と回答した方の合計は74.8%であり、令和6年度から8.3ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	平時も災害発生時も電子媒体の方が利用しやすい	65	13.9%
2	平時は電子媒体、災害発生時は紙媒体の方が利用しやすい	197	42.1%
3	平時も災害発生時も紙媒体の方が利用しやすい	153	32.7%
4	平時は紙媒体、災害発生時は電子媒体の方が利用しやすい	53	11.3%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問55. 防災マップには浸水想定エリアや避難場所のほか、避難行動や備蓄品の例等を掲載しています。

災害への備えとして、更に掲載・充実してほしい情報はありますか。

【複数選択可：いくつでも】

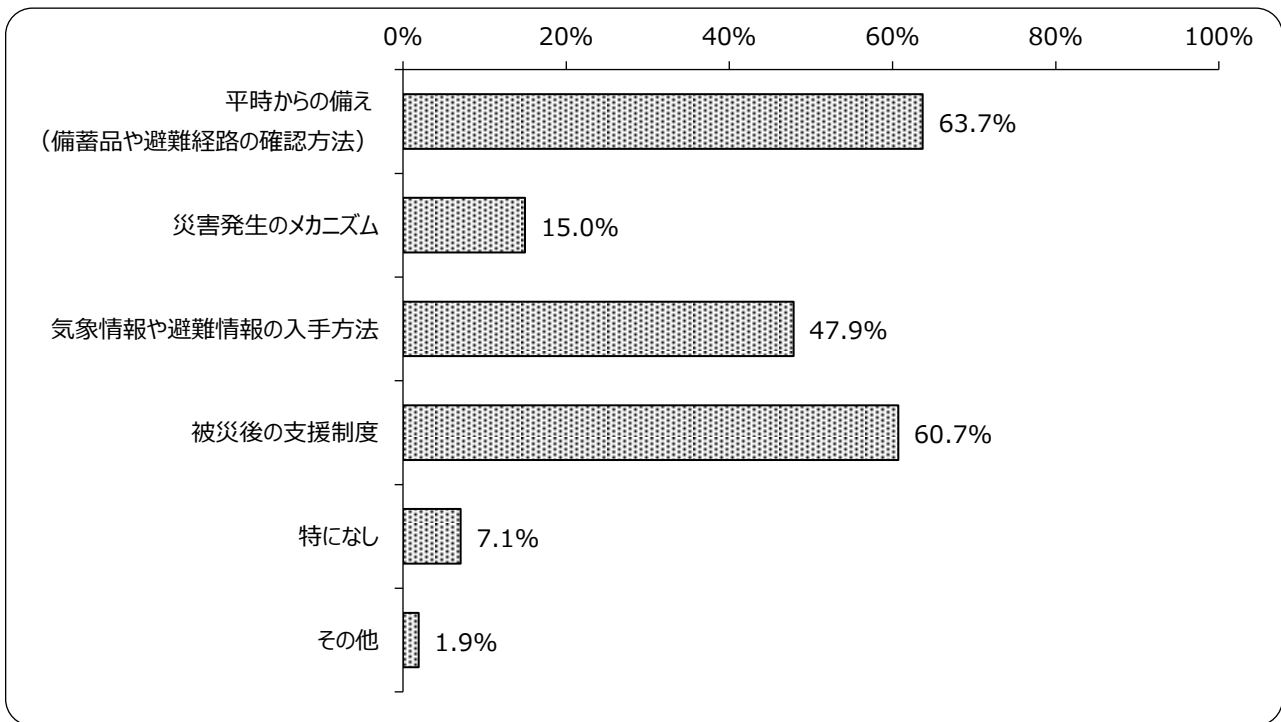
「平時からの備え（備蓄品や避難経路の確認方法）」と回答した方が63.7%と最も多く、次いで「被災後の支援制度」と回答した方が60.7%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	平時からの備え（備蓄品や避難経路の確認方法）	298	63.7%
2	災害発生メカニズム	70	15.0%
3	気象情報や避難情報の入手方法	224	47.9%
4	被災後の支援制度	284	60.7%
5	特になし	33	7.1%
6	その他	9	1.9%

[6 その他]

【主な回答】

- 高齢者の避難行動で注意する点
- 介護食や離乳食の備え



### (3) 防災マップの配架先

問56. 防災マップの配架先について問52の1～6以外で入手しやすい（したい）と考える場所はどこですか。

【複数選択可：いくつでも】

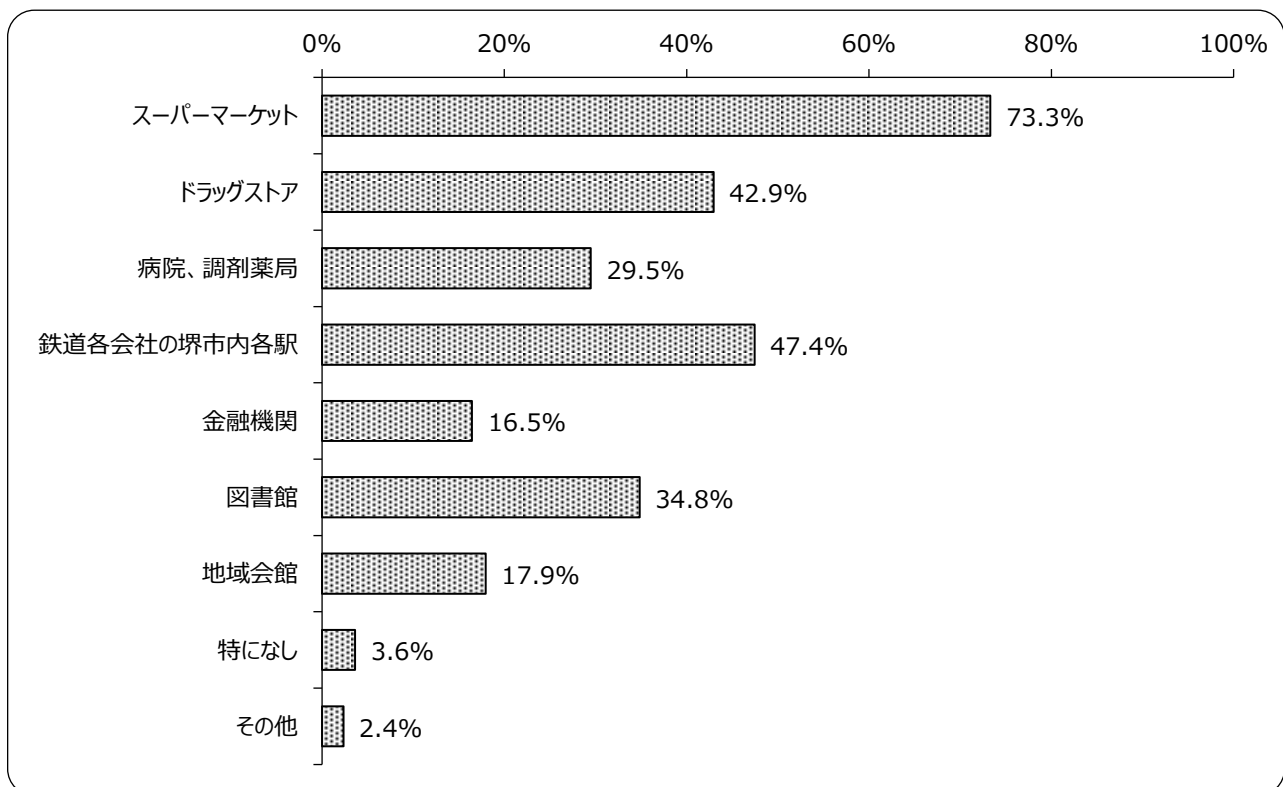
「スーパーマーケット」と回答した方が73.3%と最も多く、次いで「鉄道各会社の堺市内各駅」と回答した方が47.4%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	スーパーマーケット	343	73.3%
2	ドラッグストア	201	42.9%
3	病院、調剤薬局	138	29.5%
4	鉄道各会社の堺市内各駅	222	47.4%
5	金融機関	77	16.5%
6	図書館	163	34.8%
7	地域会館	84	17.9%
8	特になし	17	3.6%
9	その他	11	2.4%

[9 その他]

#### 【主な回答】

- 各社コンビニ
- 広報さかいと同じように全戸配布
- 小・中学校で生徒に配布し、持ち帰らせる



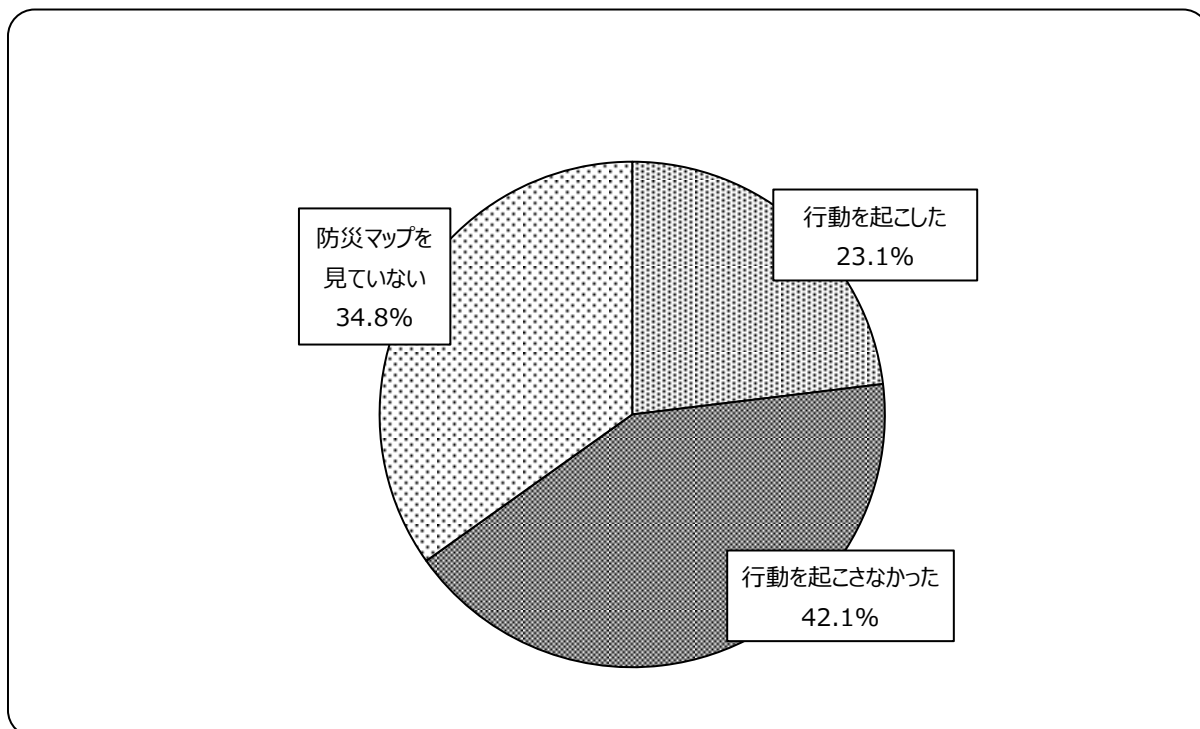
#### (4) 防災マップの啓発効果

問57. 防災マップを見て、災害に備えて何か行動を起こしましたか。

【1つ選択】

「行動を起こした」と回答した方が23.1%であり、令和6年度から8.3ポイント減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	行動を起こした	108	23.1%
2	行動を起こさなかった	197	42.1%
3	防災マップを見ていない	163	34.8%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問58. 問57で「1 行動を起こした」と回答された方に伺います。

災害に備えて、具体的にどのような行動を起こしましたか。

【複数選択可：いくつでも】

「非常持ち出し品・非常備蓄品を準備した」と回答した方が71.3%と最も多く、令和6年度から3.5ポイント減少した。

	選択項目 (n=108)	回答数	回答数/n
1	非常持ち出し品・非常備蓄品を準備した	77	71.3%
2	指定避難場所や安全な場所・建物の位置を確認した	66	61.1%
3	ハザードマップで自宅や職場の位置を確認し災害リスクを把握した	63	58.3%
4	家族との連絡方法・集合場所について話し合った	40	37.0%
5	市公式SNSや防災情報メールを登録した	16	14.8%
6	その他	3	2.8%

[6 その他]

【主な回答】

- 枕元に靴を置く。
- 近隣住民と一緒に避難するよう声かけた。

